

# 「考える力」を身につけよう 「日本の伝統・文化」将棋を学ぶ

公益社団法人 日本将棋連盟



## プログラム概要

当団体は日本の伝統文化である将棋を次世代に継承する事業の一環として、子供たちへの将棋プログラムを作成しました。日本文化の理解を深める機会を設け、礼儀作法の習得、集中力や忍耐力、相手を思いやる気持ちなど 児童・生徒の豊かな心や生きる力を育む機会を設けます。

対象者	幼児(就学前)、小学生、中学生、高校生、特別支援学校の児童・生徒	実施可能エリア	全国
テーマ	伝統・文化	対応可能日	平日授業、土曜日、日・祝日や夏休み等の長期休暇
費用	交通費実費	主な開催場所	学校
所要時間	90分 ※45～120分でアレンジ可能	対応条件	条件をご相談ください

## 活動概要

### 【活動のきっかけ】

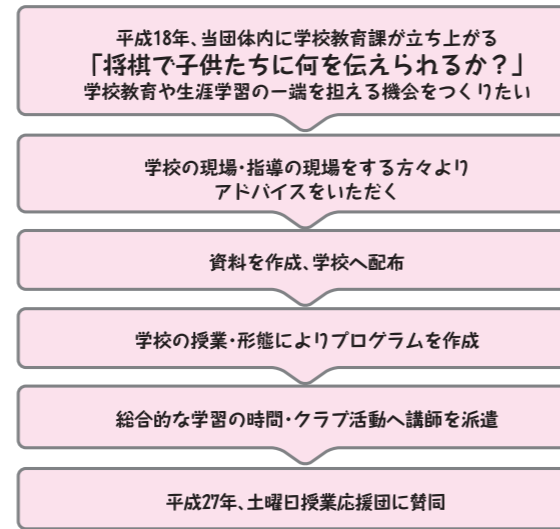
古来より愛好者が多く庶民の気軽な娯楽という側面を持つ将棋。

近年では、将棋を通じて、思考力・集中力・決断力・洞察力の育成や、礼儀マナー、自ら考えて決断することや相手への思いやりなど、教育的効果が認識されるようになってきました。

この力は将来、いろいろな場面で生かされるものと感じ、平成18年末に、将棋を次世代に継承していくため、当団体内において学校教育課を創設いたしました。



### 【開発までのプロセス】



## 活動の特長・工夫

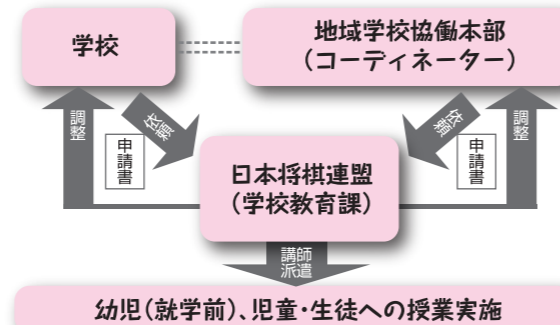
### ① 出前授業

学校の要望・学年に合わせてプログラムを考えます。

### ② 「本物を知る」

東京、大阪にある将棋会館を見学し、プロの対局を見学することができます。キャリア教育としてプロ棋士のお話も聞くことができます。

### 【実施体制】



## プログラム内容

### 【ねらい】

- 礼儀を育む: 「お願いします」「負けました」「ありがとうございました」の三つの礼を基本として、対局相手への尊重と対局に関わる全てに感謝の気持ちを育みます。
- 三手の読み: 一手ごと交互に指し合います。自分だけの思いで進めることはできません。相手が何を考えているかを考えて自分の手を考えます。先を読む洞察力、想像力を身につけます。
- 「考える力」を身につけよう: 将棋は自分で考え自分で決断し指し手を決めます。自分で考える習慣を身につけます。

### 【進行概要(時間・内容)】 90分

#### STEP1 (20分)

#### 「将棋の歴史」

将棋が伝わった道から日本の将棋の特徴を知る。地域・風土によってその国々独特の遊戯となり日本では、唯一取った駒を使う将棋となった歴史を説明。

レクチャー

#### STEP2 (25分)

#### 「礼儀作法・マナー」

将棋を指すマナーを通して礼儀作法を学ぶ。駒箱を開ける、駒を並べる、順番を決める、勝負をする前・後の挨拶、最後には片付けまでの所作を解説。

レクチャー

#### STEP3 (45分)

#### 「将棋を指してみよう」

棋は対話。自分で考えて自分で決めて将棋を指します。将棋のルールを知らない子供たちにも駒の動かし方から指導。

ワーク



### 児童・生徒の声

将棋は難しいと思っていたけど駒は8種類しかないことを知り覚える元気が出た。

### 保護者の声

感想戦をすることで、物怖じしない人となることができました。(コミュニケーション力の向上)

### 教員の声

わからないとすぐに投げ出していた児童がじっくり考えるようになりました。

### 本プログラムのポイント

- 礼儀作法や所作を学ぶ。
- 洞察力や想像力を育む。
- 思考力を育み、対戦者とのコミュニケーション力を育む。

### 今後の展望

1、2回の総合的な学習の時間では、将棋のさわりのみしか伝えることができません。思考力・集中力・決断力・洞察力を身につけてもらう(実感)また将棋の奥深さを知ってもらうために複数回の時間を取ってもらえるよう学校・地域と協力していく予定です。

### 企業・団体連絡先:

公益社団法人 日本将棋連盟 普及免状部学校教育課  
〒151-8516 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-39-9  
TEL: 03-3408-6234 e-mail: gakkou@shogi.or.jp